

令和3年度 江戸川区立瑞江第三中学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

学校教育目標	○自ら学んで、自己を高める生徒 (知性) ○人を大切にして、共に生きる生徒 (敬愛) ○心身が健やかで、活力のある生徒 (健康)	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	・生徒の心を耕し、体を鍛え、学力を伸ばす学校 ・自ら学んで自己を高め、人を大切にして共に生き、心身が健やかで活力のある生徒 ・生徒に耳を傾け、模範を示し、導く教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果>○生活指導において、主任のリーダーシップの下、組織的な取組ができ、学校全体が落ち着いた。○特別支援教育について、校内委員会を定期的に開き、SCも交えて情報交換・協議を行うことができた。○外部人材の活用を推進出来た。○学習指導において、学習規律の徹底は概ね良好であった。 <課題>○主体的対話的で深い学びを目指した、授業改善を図る取組を行う。○生活習慣において、テレビ視聴およびスマホ使用の時間を減らし、家庭学習の一層の充実をはかる。○生徒や保護者、そして指導する教員それぞれが過度の負担にならない部活動を推進する。		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価	来年度に向けた改善策		
					取組	成果			成果と課題	評価
いきいきと学ぶ学校づくり	確かな学力の向上	・「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上 ・「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	・年間30回以上の補習授業の実施と基礎学力テストの開催 ・小学校と教科別の協議をして連携を具体化させていく。	・基礎学力テストにおいて、70%以上の正解率を目指す。 ・年1回以上の協議の場を作る。	B	B	○補習授業を計画的に行っている。 ●低学力生徒の参加が少ない。	B	・テストの団体戦や暗記の成果を横断などの名称を使って生徒のやる気を出させる等、工夫が良い。	低学力生徒への補助について来年度の補習授業に来る外部講師と連携を取りながら進める。
	読書科の更なる充実	・読書を通じた探究的な学習の充実(読書科ノートの活用、資料の収集の仕方や記録の取り方の指導、自己の考えをまとめ表現する方法の指導、朝読書と1単位時間の授業との関連付け、他教科との関連等) ・学校図書館の整備、学校図書館を使った授業の充実	・読書科で探究的な学習に取組む。 ・新校舎への移転に合わせ、図書館司書の指導の下、図書を分類整理する。	・主に学校図書館を使った調べ学習での成果物を作る。 ・移転に合わせ分類別に整理する。	B	B	○各学年で計画的に探究的な学習を取組むことが出来た。 ●成果物をより一層充実させる。 ○9月までに図書館の整理を終わらせることが出来た。	B	読書好きな生徒を育てて欲しい。	より充実した成果物の作成を目指す。
	体力の向上	・体育の授業での補強運動や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	体育や休み時間における運動によって運動意欲の向上を図る。	体育で補助運動の実施、昼休みには遊びながら運動を行う。	B	C	○積極的に運動を伴う遊びをする生徒が増えた。●体力テストの結果が余り向上していない。	B	体力・気力がつくように指導をお願いします。	楽しく体力作りが出来る工夫をする。
	オリパラ教育の推進	・「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組、「学校2020レガシー」の設定やオリパラコーナーの充実	オリンピック・パラリンピックへの興味・関心が高まる。	各教科でのオリパラ教育に関する指導を年35時間以上行う。	B	B	○各教科でオリパラ教育を推進した。	B	オリンピックへの関心を持ち続けて欲しい。	瑞三ビュートナーを本校のレガシーとして続けていく。
	外国語教育の推進	・授業力の向上とALTの効果的な活用	授業力の向上を目指し、校外での研修に取組む。	区や都の学力調査で平均値との差を無くす。	B	B	○スピーキング力を高める取組みができた。 ●もっとALTを活用できると思う。	B	学力向上は保護者の切実な願いであるので更なる向上をお願いします。	新学習指導要領に沿った学習を行っていく。
健全育成に向けた取組の強化	いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実	・いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 ・チャイルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用	・いじめの未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 ・続けて休む生徒には家庭訪問を行う。	・いじめアンケートを各学期で行う。 ・30日以上欠席する生徒を15人以下にする。	B	B	○アンケートからいじめを発見し解決に導くことが出来た。●誰が嫌がらせをしているかわからない案件があった。	B	とにかくいじめを無くしてもらいたい。	いじめがすぐに発覚出来る体制作りを行う。
	特別支援教育の充実	・校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・エンカレッジルームの活用促進	・校内委員会を中心として、巡回指導教諭と連携を図りながら取組を進める。 ・校内委員会で個別の特徴や対応について協議する。 ・エンカレッジルーム使用の約束を作る。	・毎週1回の校内委員会を行い指導・支援を充実させていく。 ・個別の対応事例を各学期末にまとめ、全体に発表しユニバーサルデザインへと繋げていく。 ・エンカレッジルームを活用し、不登校生徒を15人以下にする。	B	B	○校内委員会を中心に連携して生徒指導を行うことが出来た。 ●外部機関との連携に欠けた。 ○個別の対応事例を全体に発表出来た。 ●ユニバーサルデザインまでは繋がっていない。 ●不登校生徒が16名になってしまった。	B	色々な生徒に良く対応していると思う。	外部機関との連携をより進めようとする。
教員の資質向上	教員研修の充実	・学習用タブレットを活用した授業実施に向けた研修	良く利用する教員を中心に放課後の自主研修を行う。	年に1回以上のタブレットを使用した研究授業を行う。	B	B	○タブレットを使用した研究授業を行った。●タブレットを使用する授業経験者が半分に満たない。	B	黒板上のプロジェクターは素晴らしい。どのように使うか見てみたい。	ICT機器の利用がもっと楽になる環境を整える。
	授業研究の充実	・若手教員の研究授業や日頃の授業観察で、お互いの授業を学び合う。	各学期1回以上の授業観察を行う。	生徒授業アンケートにおいて肯定評価 80%以上を目指す。	B	B	○1学期に授業観察を行った。	B	いい授業をしてほしい	お互いの授業観察が出来る環境を作る。
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	「各教科等の連携教育プログラム」の実践と見直しをする。	年度末に次年度に向けた改善策をまとめる。	C	C	○連携教育の確認ができた。●実践について協議が出来なかった。	B	小中が一緒に行う活動が出来た。	小学校との連携に力を入れる。
	「瑞三文武両道八カ条」の推進	リズム正しい生活を心がけて、生活改善の意識を向上させる。	各学期に生活点検週間を設け、各家庭と共に生活リズムを見直す。	6条補足「テレビ、スマホ、ゲーム等あわせて2時間以内」の生徒を60%以上にする。	B	C	○校舎入口を花で飾れた。 ●コロナ禍で、緑の応援団が活動できなかった。	B	家庭だけでは指導が出来ないが学校から言ってもらってよかった。	家庭とより一層連携して、家で過ごす方について考えていく。
	花があふれる学校への推進	保護者が中心である緑の応援団と生徒の園芸ボランティア部が連携して取り組む。	植え替えと土日を含めた日常の水やりや手入れを行う。	年に3回の植え替えを行う。	B	B	○校舎入口を花で飾れた。 ●コロナ禍で、緑の応援団が活動できなかった。	B	季節の花を楽しみにしています。	地味だが継続して取り組む。
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	「各教科等の連携教育プログラム」の実践と見直しをする。	年度末に次年度に向けた改善策をまとめる。	C	C	○連携教育の確認ができた。●実践について協議が出来なかった。	B	小中が一緒に行う活動が出来た。	小学校との連携に力を入れる。
	「瑞三文武両道八カ条」の推進	リズム正しい生活を心がけて、生活改善の意識を向上させる。	各学期に生活点検週間を設け、各家庭と共に生活リズムを見直す。	6条補足「テレビ、スマホ、ゲーム等あわせて2時間以内」の生徒を60%以上にする。	B	C	○1学期に行えた。 ●家で時間の使い方考える機会を作ることが必要である。	B	家庭だけでは指導が出来ないが学校から言ってもらってよかった。	家庭とより一層連携して、家で過ごす方について考えていく。
	花があふれる学校への推進	保護者が中心である緑の応援団と生徒の園芸ボランティア部が連携して取り組む。	植え替えと土日を含めた日常の水やりや手入れを行う。	年に3回の植え替えを行う。	B	B	○校舎入口を花で飾れた。 ●コロナ禍で、緑の応援団が活動できなかった。	B	季節の花を楽しみにしています。	地味だが継続して取り組む。